



パワーコンディショナと蓄電池ユニットの使用上のご注意：ご使用される前には、取扱説明書や製品の注意書きをよくお読みになり、正しくご使用ください。

●購入時に補助金の交付を受けた方は設置時から一定期間の使用が義務付けられる場合があります。その間は本製品を適正にご使用していただく必要があります。期間内に修理が必要になった場合は、お買い上げの販売会社にご連絡ください。●蓄電池からの放電中の動作について 電力会社との取り決めにより、放電中に微量電力を買電しています。蓄電池に貯めた電力は太陽光発電システムと異なり、送電線へ電力を逆流させない決まりとなっています。このため、本製品ではご家庭のご使用電力より約30W少なく放電することにより、取り決めに担保しています。●蓄電池のメンテナンスモードについて、蓄電システムの性能維持のために、年1回(6月)自動でメンテナンスモードを実行します。メンテナンスモードとは、蓄電池を自動的に点検するモードです。ご家庭の消費電力量が少ない場合は、一日でメンテナンスモードが終了しないことがあります。メンテナンスモードは蓄電池の性能を維持するために必要な機能です。また、メンテナンスモード時には100W以上消費する家電製品を接続して動作させてください。●装置の近くでテレビやラジオなどを使用する場合は、テレビの画面が乱れたり、ラジオに雑音が入ることがあります。3m以上離してご使用ください。受信している電波の弱い場所では電波障害を受ける可能性があります。●本製品には、途中で電源が切れると困る家電製品は接続しないでください。停電時に夜間や曇りなどで発電電力または蓄電池の電力が不足すると装置は停止し、家電製品の電源が切れます。大切なデータの入ったパソコン等、途中で電源が切れると困る電気製品は接続しないでください。●停電時に一度に多くの機器をご使用になると保護のために出力が頻繁に停止し、機器の故障の原因となることがあります。ポンプやモーターなど起動時に大きな電力を必要とするものは使用しないでください。●センサー機能や調光機能がある照明は、停電時にちらつく場合や、動作しない場合があります。●燃料電池を併設する場合は、設置・接続方法などを販売店へお問い合わせください。●併設する太陽光システムに制約がある場合(メーカー、型番、容量)があります。●近隣にアマチュア無線局がある場合、電波受信に影響を与える可能性がありますので、事前に販売店にご相談ください。●外付け太陽光発電の余剰電力をグリーンモードで余剰充電する場合には、すべての余剰電力を充電することはできません(100～200W売電します)。●動作温度範囲外では運転を停止します。

V2Hスタンド・ポッドの使用上のご注意：ご使用される前には、取扱説明書や製品の注意書きをよくお読みになり、正しくご使用ください。

●吸気口や排気口を塞がないでください。内部の温度が上昇し危険です。●装置の近くでテレビやラジオなどを使用する場合は、テレビの画面が乱れたり、ラジオに雑音が入ることがあります。3m以上離してご使用ください。受信している電波の弱い場所では電波障害を受ける可能性があります。●可燃ガスや引火物を製品の近くで使用しないでください。発煙発火の原因になることがあります。●濡れた手でコネクタに触れたり、抜き押しすることほしないでください。感電の危険性があります。●コネクタがロック中は、コネクタをこじるなどして無理に抜かないでください。高電圧の印加されている箇所があり危険です。●本体、コネクタ、充放電ケーブル等は絶対に修理・分解・改造をしないでください。高電圧の印加されている箇所があり危険です。●充放電ケーブルを車で踏んだり、足を引っ掛けるなどして強い力が加わると、本体、コネクタおよび充放電ケーブルが破損する可能性があります。●本体に強い衝撃を与えたり、本体の上に乗ったり、物を置いたり、ひきずったりしないでください。本体の故障につながる可能性があります。●コネクタや充放電ケーブルに損傷、腐食、サビがある場合、または充放電の接続にガタや緩みがある場合は、充放電を行わないでください。漏電、感電、ショート、火災の原因になります。●雷が鳴り出したら、車両や本体に触れないでください。落雷による感電の恐れがあります。●万一、異音や異臭がしたり、エラーが表示された場合は、速やかに使用を中止し、お客様相談窓口にご相談ください。●停電時の自立運転時にはV2Hスタンドから給電される場合において、V2Hスタンドの給電能力を超えると停電が発生します。そのため、録画機器やパソコンなど、途中で電源が切れては困る電気製品の使用においてはご注意ください。瞬時停電で影響の出る家電製品は、バックアップ電源(UPS)などの利用をお奨めします。●接続車両については、弊社ホームページをご確認ください。●車種の違いにより起動方法が異なる場合がありますので、車両の取扱説明書をご確認ください。●停電時の自立運転起動にはDC12V電源ケーブルの接続が必要な車両があります。取扱説明書をご参照ください。

設置場所について：本製品は次のような場所には設置できません。

●標高2000mより高いところ ●岩礁隣接地域 ●重塩害地域 ●揮発性、可燃性、腐食性およびその他の有害ガスのあるところ ●振動、衝撃の影響が大きいところ ●油蒸気のあるところ ●浸水のおそれがあるところ ●電界の影響が大きいところ ●風通しが悪いところ、屋内(物置、倉庫を含む。ただし、蓄電池ユニットは除く)※蓄電池ユニットを屋外に設置する場合には、蓄電池屋外用ケースが必要となります。●販売会社で決められていないところ ●結露および氷結のあるところ ●各機器の設置可能温度範囲を超えるところ ●直接日射が当たるところ(V2Hスタンド・ポッド除く)

⚠️ 安全に関するご注意

●ご使用前に、「取扱説明書」をよくお読みください。ご不明な点は予めお買い上げの販売店または工事会社にご相談のうえ、正しくご使用ください。●人命に直接かわる医療機器などへの接続は絶対にしないでください。●植込み型心臓ペースメーカー及び植込み型除細動器(ICD)を使用している方は、充電中、給電中の機器本体部からの電磁波がペースメーカー、ICDの作動に一時的な影響を与える場合がありますので使用しないでください。・充電中、給電中の本製品に近づかないでください。なお、不用意に近づいた場合には、立ち止まらずに速やかに離れてください。・機器本体部及び充放電コネクタに密着するような姿勢はとらないでください。・本製品を操作する必要がある場合は、他の方へお願いしてください。詳細は一般社団法人 日本不整脈デバイス工業会のホームページをご確認ください。●本機を本来の充放電以外の用途に使用することは危険ですので行わないでください。

ずっと使うものだから、トップメーカーならではの安心を。

ニチコンは、家庭用蓄電システムの累計販売台数、国内No.1*。「電気を蓄え、上手につかうテクノロジー」のトップメーカーとして常に「この先も価値の続くもの」をご提案してきました。地球規模の環境問題、日本のエネルギー問題から、家族の未来まで考えて、蓄電システムを開発しています。

*2021年9月末現在、ニチコン調べ。

POINT 1 2012年の初出荷以来、10万台以上を販売しているトップメーカー (2021年9月末現在)

POINT 2 2.0～16.6kWhという業界唯一の幅広い商品ラインアップ

POINT 3 国内の幅広い太陽光発電システムや燃料電池とも接続可能

POINT 4 大手ハウスメーカー様や住宅建材・太陽光発電の商社様、販売店様に多く採用

家庭用蓄電システムの
累計販売台数
国内No.1

POINT 5 ネットワーク&見守りサービス対応で安心もしっかり

POINT 6 安心の長期保証と充実のアフターメンテナンス体制

POINT 7 システム連系(JET)認証取得、ECHONET Lite搭載

製造元

ニチコン株式会社

京都市中京区烏丸通御池上る 〒604-0845
https://www.nichicon.co.jp/

製品に関するお問い合わせ

☎ 0120-215-086 (フリーダイヤル)

e-mail: info-ess@nichicon.com

受付時間：月曜日～金曜日 午前9時～午後5時 (土・日・祝日・休業日は除く)

販売店





動き始めた
カーボンニュートラル1.0。
環境への取り組みは
新たなステージへ。

脱炭素社会への目標

カーボンニュートラルが世界中でうたわれるようになり、環境への取り組みは新たなステージに移行しています。

日本政府が発表した「グリーン成長戦略」では、化石燃料に代わる再生可能エネルギーでの発電比率を50~60%程度まで引き上げることを目標にし、ZEHなどの普及により家庭で生産するクリーンエネルギーを活用することで、CO₂排出を抑えながら経済にも貢献するよう示されています。

自家発電・自家消費があたりまえの時代に

新築時の太陽光発電の設置義務化や、蓄電システム・電気自動車を購入する際の補助金制度など、目標達成のためのさまざまな施策が検討されています。

海外では一足早く、アメリカのカリフォルニア州ですべての新築住宅に太陽光発電の設置が法律で義務づけられています。今後、ほかの州も追随することが予想されています。

太陽光発電やZEHといった取り組みがもはや先進的ではなく、日本でもあたりまえのこととされる時代がやってきました。



加速する
電動車へのシフト。
化石燃料からの
脱却が世界のトレンドへ。

急激な変化を見せる電動車へのシフト

世界中で急速な動きを見せる電動車へのシフト。欧州やアメリカ、中国などは2025～35年をめどにガソリン車の新車販売を規制し電動車とすることを決めました。


日本も30年代半ばに新車販売を電動車に限定することを、政府が目標として設定しました。

また、電動車の普及台数はこれまでは中国がトップでしたが、2020年について欧州がトップに。普及ベースでも電動車へのシフトが、世界の潮流となっていることがうかがえます。

電動車にはクリーンエネルギーを

化石燃料を必要としない電動車。しかし、その電動車に供給する電気が化石燃料で発電されていたら、本末転倒ではないでしょうか。電動車に乗るなら、そのエネルギーにもこだわりたいところ。太陽光で発電した電気を電動車に充電すれば、クリーンエネルギーで走らせることが可能になります。

まるで未来のこのように思えたカーライフは、もうすぐそこまで迫ってきています。



環境への貢献は
家庭から。
次世代の
エネルギーライフ。

家庭からの変化が次世代へのカギ

次世代のエネルギーライフは、国や企業などの取り組みだけではなく家庭から行われていくことがカギとなります。

太陽光発電を中心とした再生可能エネルギーと、それを活用するための蓄電システムなどのサポート機器、交通手段としての電動車など、さまざまな要素が組み合わさって新しいエネルギーライフが実現します。

災害時にも強いエネルギーシステム

これまでの系統電源からの電力供給は、災害時の停電などさまざまなリスクを抱えてきました。

自家発電ができれば系統電源に頼らず電気が使え、蓄電システムや電気自動車などで蓄えた電気があれば夜間の停電にも備えることができます。

大きな災害が増えてきた昨今、もしもの備えとしても各家庭がエネルギーシステムを持つことが防災対策としても重要になってきています。

BRAND NEW

新しくなった

トライブリッド蓄電システム[®] ESS-T3 シリーズ

大きな変化を迎える社会とともに、

住まいのエネルギーにも変革を。

トライブリッド蓄電システム[®]が

先進的な機能はそのままに、

さらに使いやすく、さらに

パワーアップして生まれ変わりました。

太陽光発電も、蓄電池も、電気自動車も、

これ1台でまとめてOK。次世代の家庭の

エネルギーマネジメントの中心に、

なくてはならない革新的なシステムです。



01 **トライブリッドパワコン[®]**
連系出力5.9kW、自立出力5.9kVAの
パワフルな出力に加え、待望の全負荷
200Vを標準搭載しています。

02 **蓄電池ユニット**
大容量から小容量まで幅広い容量ライ
ンナップ。しかも、後から増設も可能。
室内にも屋外にも設置可能な蓄電池
ユニットです。

03 **V2Hスタンド**
標準5.9kW+拡張充電9.9kWで、
普通充電設備に対して最大3倍のハイ
スピード拡張充電を実現。大容量化
する電気自動車に対応しています。

04 **V2Hポッド**
V2Hスタンドは広いスペースに置き、
電気自動車の傍らにはコンパクトな
ポッドを設置できるセパレート型が登場。
車種に応じて最適な設置が可能です。

05 **リモコン**
ネットワーク接続で、システムアップ
デートやAI自動制御などさまざまな
サービスに対応。カラータッチパネルで
直感的にコントロールできます。



トライブリッド蓄電システム[®]
スペシャルムービーはこちら



トライブリッド蓄電システム[®]
スペシャルサイトはこちら



トライブリッドロゴは、トライ
ブリッドパワコンであることを
表すニチコンの商標です。

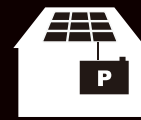
HIGH-OUTPUT AND
ABLE TO PROVIDE 200V

連系出力5.9kW、自立出力5.9kVAの パワフルな出力と 待望の全負荷200Vを標準搭載。

系統との連系出力5.9kWに加え、自立出力5.9kVAの高出力。
また、全負荷200Vを標準装備して災害時にも安心。
太陽光発電も、電気自動車への給電もこれ1台でOKです。

01 太陽光パワコンとしても充実機能

入力回路数は4回路、最大入力8.8kW(過積載10kW)、
最大短絡電流15Aと太陽光パネルとの接続機能を大幅に
パワーアップ。太陽光パワコンとしても充実した機能です。



多彩な
太陽光パネルに
対応します。

02 全負荷200Vを標準装備

専用分電盤で全負荷200Vにも対応。災害などの停電時
でもエアコンやIH調理器などの200V機器を、蓄電した
電気で使用することが可能になりました。



全負荷対応で、
家全体に電力を
供給します。

トライブリッドパワコン*



蓄電池ユニット

THIS LINEUP IS
CLOSE TO YOUR LIFE

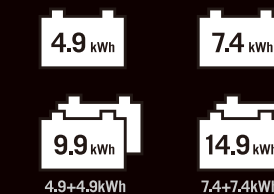
ライフスタイルにあわせて選べる 豊富な容量ラインアップ。 しかも後から増設も可能。

最小4.9kWhから最大14.9kWhまで、組み合わせで容量が選べる蓄電池ユニット。
ご家庭での使用量に最適な容量がセレクトできます。
しかも最初は最小限にしておいて、必要な時に後から増設することも可能です。

01

組み合わせで 自由に容量が選べる

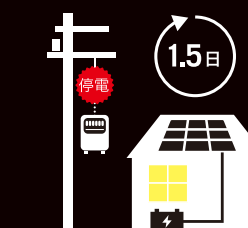
4.9kWhと7.4kWhの容量の蓄電池の組み合わせで、計4パターン
の容量を選ぶことができます。後
からの増設も可能なのでライフパ
ターンにあわせて自由にセレクト
できます。



02

災害時にも安心

一般家庭での平均的な一日の
使用電力量を約10kWhと仮定
して、4.9kWhだと約半日、
14.9kWhだと約1日半、停電で
電力供給が止まってもいつも
の生活が行えます。



03

安心の15年保証

電池性能が向上したことによ
り、15年の製品保証、容量保
証が可能になりました。動作温
度も-10~40°Cと幅広く、屋内、
屋外のどちらにも設置いた
だけます。



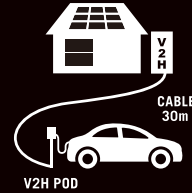
ELECTRIC CARS BECOME
LIKE SOLAR CARS

電気自動車も 太陽光で走らせる。 クリーンエネルギーの最先端。

電気自動車やプラグインハイブリッド車と組み合わせられることが大きな魅力。毎日の通勤やお買い物に使っているクルマも、昼間に発電して蓄電システムに蓄えておいた電力で充電(エレムーブ®)すれば、毎日の電気自動車のエネルギーを自家製電気でもかなえます。

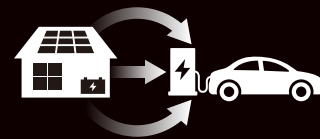
01 自由なレイアウト

小型のセバレットタイプならガレージの狭いスペースや家の外壁、カーポートの柱にも設置可能。V2Hポッドのケーブルも3.5mあるので、いろんな車種の給電口に無理なく差し込めます。



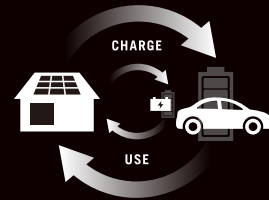
02 ハイスピード拡張充電

標準5.9kWに加え、系統電力+蓄電池+太陽光発電をあわせた、最大9.9kWのハイスピードで充電が可能。大容量化する電気自動車の充電に対応した高機能です。



03 電気自動車を家庭の蓄電池に

V2Hは、電気自動車の充電だけでなく、電気自動車から家庭への給電も可能。大容量の電気自動車の電池を家庭の蓄電池として活用できます。



V2Hポッド

SERVICES FOR USING ENERGY BETTER

直感的に使えるリモコンはインターネット接続でさまざまなサービスに対応。

見やすく扱いやすいカラータッチパネルリモコンで直感的な操作が可能です。またインターネット接続することで、システムアップデートや蓄電システムを使いこなす各種モードやサービスに対応できます。

室内リモコン



詳しい操作方法はこちら



ニチコンオーナーズ倶楽部

サービスへのお申込みは、ニチコンオーナーズ倶楽部から。

ニチコンの家庭用蓄電システムをご購入いただいた皆さまに、長く快適に、安全にお使いいただきたい。その思いから生まれたのが、ニチコンオーナーズ倶楽部です。製品をお持ちの方ならどなたでも無料でご登録いただけます。

サービス申込み
上記4種のサービスにもWebから簡単申込み!

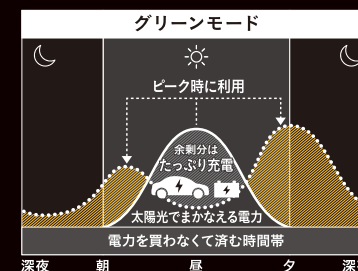
マンスリーコラム
電力にまつわるお役立ちコラムを毎月更新!

マイページ
ご登録製品の運転状況を確認!



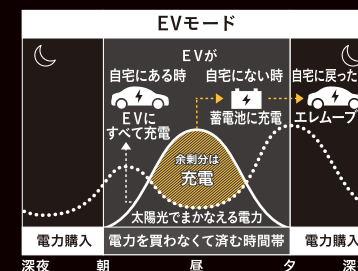
01 3つのモードで運転コントロール

太陽光を最大限に自家消費するグリーンモード、太陽光の発電で電気自動車を充電するEVモード、太陽光で発電した電気をしっかり売る売電モードなど、ライフスタイルにあわせた3つのモードで無駄なく電気を使いこなします。

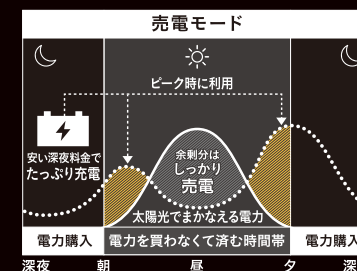


太陽光で発電した電力の余剰分を蓄電池と電気自動車に充電し自宅使います。電力会社から電気をなるべく買わず、家産家消を目指します。

※もっと最適に自家消費したい方はAI自動制御サービスをおすすめします。
※蓄電池ユニットの充電電力の低下により、余剰電力の一部が充電できず売電される場合があります。



日中に電気自動車が自宅にある時は太陽光で発電した電力をすべて電気自動車に充電。日中に電気自動車が自宅になれば蓄電池に充電し、電気自動車がつながったら自動でエレムーブ充電します。



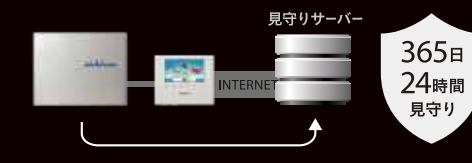
太陽光で発電した電力の余剰分をすべて売電する、売電を重視した設定です。太陽光売電効果の高い「押し上げ効果なし」に対応。

02 無料のネットワークサービス

過去のデータをもとにニチコンが独自開発を行ったAI自動制御サービスや、気象警報発令時などに自動的に蓄電池を充電する気象警報自動制御など、無料サービスも充実しています。

見守りサービス

お客様が安心して蓄電システムをご利用いただけるように蓄電システムを見守るサービスです。蓄電システムのエラー発生状況を見守るだけでなく、機器のソフトウェア更新や今後の新しいサービスをネットワーク経由で提供できます。



気象警報・早期注意情報自動制御

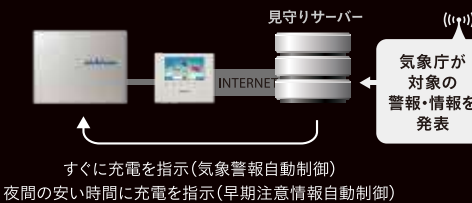
お住まいの地域に気象警報や早期注意情報[高]が発表されたら、自動で蓄電システムを充電して停電に備えます。

気象警報自動制御

対象となる警報 【警報】大雨、洪水、暴風、暴風雪、大雪、高潮(波浪は除く)
【特別警報】大雨、暴風、暴風雪、大雪、高潮(波浪は除く)

早期注意情報自動制御

対象となる情報 早期注意情報[高](早期注意情報[中]は除く)



AI自動制御












翌日の「天気情報」、「発電量」、「電力使用状況」を予測して、「余剰電力」を算出し、卒FITユーザー向けに最適な蓄電システムの運転設定を自動で行います。

※お客様ごとに過去データからAIが予測するため、AI自動制御の登録完了後、約1週間データを蓄積してからAI自動制御が開始されます。予めご了承ください。
※AI自動制御は蓄電池ユニットおよび増設ユニットのみ制御を行います。
電気自動車の翌日の余剰充電のために充電を制限したい場合には、「充電上限設定値」で設定をしてください。
※蓄電池ユニットがないお客様はAI自動制御の申込みはお控えください。
※AI自動制御のお申込み時は、必ず「AI自動制御」カタログをご確認ください。



あらゆる人に、さまざまな暮らしに。

太陽光パネルのみを設置の方も、将来のことを考えるならトライブリッド蓄電システム®。蓄電池やV2Hスタンドを後から追加できるので、家族の人数や暮らしに合わせてシステムをカスタマイズしていただけます。

01	 <p>太陽光発電を設置したら まずは太陽光パネルを設置して自家製電気をつくりましょう。</p>	  <p>太陽光発電 パワコン</p>
02	<p>自家消費と停電時の備えのために 蓄電システムを買い足して、自宅の電気をまかなう暮らし。</p>	   <p>太陽光発電 パワコン 蓄電池×1</p>
03	<p>自家消費率を上げるために 家族が増えたら、蓄電できる量を増やして。</p>	     <p>太陽光発電 パワコン 蓄電池×1 蓄電池を増設</p>
04	<p>電気自動車を購入したら 電気自動車(EV)と組み合わせて、家もクルマも電気は自給自足に。</p>	     <p>太陽光発電 パワコン 蓄電池×1 V2Hを増設</p>

いつものドライブは太陽光発電で。

太陽光で発電した電気を電気自動車でも使用できれば、クルマのエネルギーも自給自足が可能です。V2Hだけではなく蓄電池とセットで設置すれば、昼間に電気自動車が自宅になくても大丈夫。

太陽光発電 + 電気自動車

蓄電池がない状態

蓄電池がなければ発電時に余った電気をためておけないので、日中に電気自動車を使う方は発電した電気を昼間に充電できません。



太陽光発電 + 電気自動車 + 蓄電池

トライブリッド蓄電システム®

蓄電池があると、昼間に太陽光発電の電気を蓄電池にためられます。さらに夜間に電気自動車へエレンプ®が可能になります。



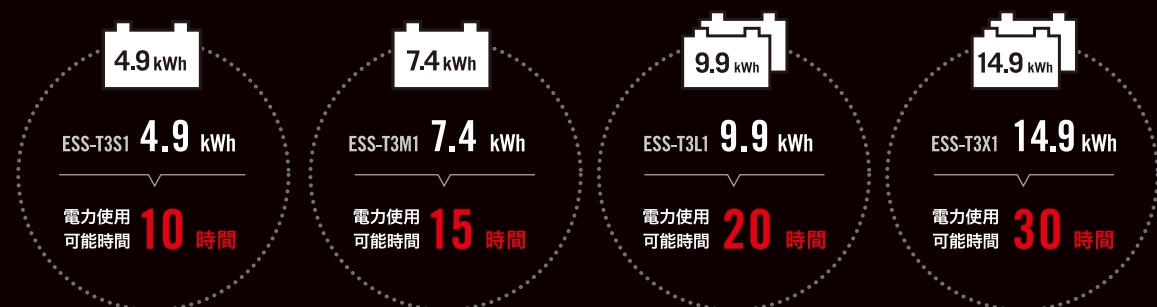
オーナー様の声 | OWNER'S VOICE

[愛知県・30代ご夫婦]

車を買替える時に、これからは電気だと、思い切って電気自動車にしました。車通勤なので日中は家に車はないのですが、蓄電システムに電気がたまっているのでそこから充電しています。子供が生まれたら、日中も電気自動車を家に置いておけるので、発電した電気を電気自動車にためておいて、夜の間に使う電気もまかないたいですね。

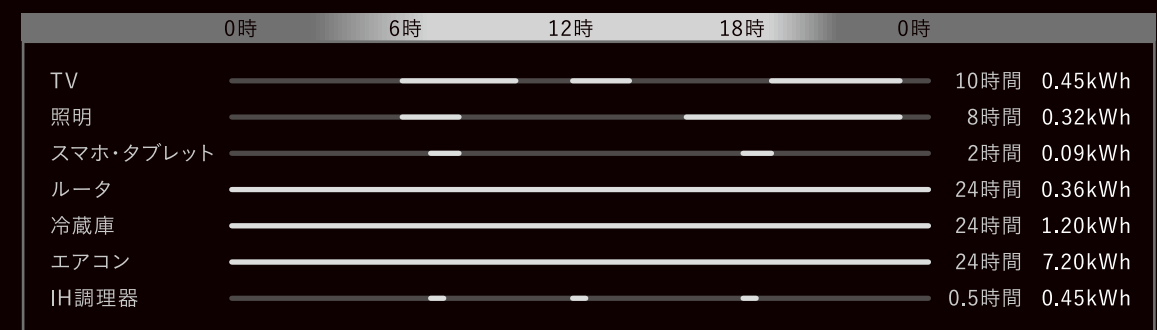
もしもの停電も、電気を使えるから安心。

災害などで停電したときも蓄電システムがあれば、蓄えておいた電気が使えます。さらに、V2Hスタンドがあれば電気自動車にためた電気も使うことができるので、長期間の停電でも安心。



※平均的な家庭における使用電力試算値(430W/h)で算出

家庭における標準的な家電の1日の電力使用



これだけ使っても約 **10 kWh** だから、太陽光発電+蓄電池で安心。

さらに....

電気自動車があれば

長期間の停電でも安心。



電気自動車
電池容量 **70 kWh** の場合

電力使用可能時間 **146 時間 (約6日間)**

※ニチコン調べ

オーナー様の声 | OWNER'S VOICE

[千葉県・40代ご夫婦]

蓄電システムを購入したのは、熊本地震のあとくらい。普段は意識することはあまりありませんでしたが、ついこの前、台風で停電になりました。でも、自動で蓄電システムの電気に切り替わったので、しばらく停電に気づかなかったほど。不便を感じることなく「おうち避難」ができて、蓄電システムの大切さを実感しました。

太陽光発電を使い切る「家産家消」の暮らし方へ。

01 売電と自家消費

売電価格が低下している中、自家消費がお得に。余剰電力を売電する暮らしと自宅で使う暮らしを比較してよりお得に活用することができます。

ケース① 卒FITユーザーの場合 売電価格8.5円/kWh・年間売電量3,600kWh

売電モード	の場合	3,600 kWh	×	売電 8.50 円	=	30,600 円 売れる
グリーンモード	の場合	3,600 kWh	×	買電 17.78 [*] 円	=	64,000 円 安くなる

※東京電力スマートライフプランを参考

グリーンモードの方が **年間約 33,000 円以上** お得!

ケース② 太陽光発電を新設の場合 2022年度売電価格17円/kWh・年間売電量3,600kWh

売電モード	の場合	3,600 kWh	×	売電 17.00 円	=	61,200 円 売れる
グリーンモード	の場合	3,600 kWh	×	買電 17.78 [*] 円	=	64,000 円 安くなる

※東京電力スマートライフプランを参考

グリーンモードの方が **経済的メリット**がある!

02 AIがコントロール

さらに、AI 自動制御サービスに加入すれば、翌日の発電量や使用量を予測して、前日夜間の最適な充電量を自動制御。自家消費量を最大化できます。

※サービスの詳細は14 ページをご覧ください。

翌日が晴れのケース

「余剰電力量」を見込み少なめに蓄電 昼間の「余剰電力量」をムダにすることなく蓄電

翌日が雨のケース

「余剰電力量」を見込めないため満充電 「発電電力」がないので蓄電池からたっぷり放電

03 電気自動車活用

電気自動車を購入したら、その大容量電池を使って完全家産家消を実現。日中電気自動車が自宅にあれば、発電量が大きくても、電気自動車に蓄えておき夜間に使用できるので電力会社からなるべく電気を買わずに暮らせます。

■蓄電池のみの場合

太陽光発電をすべて充電出来ないで、夜間電力のすべてはまかなえない。
最大14.9kWhまで充電 残りの20.1kWhはすべて安く売ってしまう

■蓄電池+電気自動車の場合

太陽光発電をすべて充電できるので、夜間電力のすべてをまかなえる。
最大14.9kWhまで充電 残りの20.1kWhもすべてEVに充電

※前提条件として【発電量】40kWh/日【日中の消費量】5kWhの場合の比較
※電気自動車の充電時間帯は、本システムの損失だけでなく、電気自動車側でも各種システム(バッテリー保護機能等)を動作させるために、最大数百Wの電力を消費する場合があります。

04 クルマのエネルギーコスト

毎日のクルマのエネルギーコストは0円に。トライブリッド蓄電システム[®]と電気自動車を組み合わせることによって、毎日のクルマのエネルギーコストを下げるができます。

ガソリン車と電気自動車のエネルギーコストを比較してみると
通勤に自家用車をお使いの方の走行距離は月に1,000km、年間12,000km程度だと言われています。(※1)

ガソリン車	走行距離 12,000 km	燃費 12 ^{※2} km/L	ガソリン代(1Lあたり) 140 ^{※3} 円/L	=	140,000 円
電気自動車(EV)	走行距離 12,000 km	電費 10 ^{※4} km/kWh	電気代 17 ^{※5} 円/kWh	=	20,400 円

電気自動車にすると年間 119,600 円 節約に!

さらに、トライブリッド蓄電システム[®]と電気自動車を組み合わせた場合

12,000kmの走行に必要な電気代 20,400 円
太陽光発電ですべてまかなえると^{※6} 12,000kmの走行に必要な電気代 **0 円**

車のエネルギーコストが 0 円に!^{※7}

つまり... ガソリン車と比較した場合、年間**140,000 円**もエネルギーコストを節約!^{※8}

※1 自動車保険各社推計をもとにニチコン算定 ※2 お持ちのガソリン車の燃費を12km/Lとした場合の試算です。 ※3 経済産業省 資源エネルギー庁 石油製品価格調査を参考(2018年2月)
※4 日産 新型リーフ(JC08モード)の場合 ※5 東京電力スマートライフプラン深夜料金を参考 ※6 太陽光発電した電力を電気自動車に使用するとその分売電量が減ります。
※7 天候や家庭での電気使用量によっては0円にならない場合があります。 ※8 あくまで試算であり効果を保証できるものではありません。

オーナー様の声 | OWNER'S VOICE

【熊本県・50代ご夫婦】

太陽光パネルを家につけてから10年たち、固定価格買取制度終了の通知が届きました。今まで1kW40円ほどで売っていたのに、これからは10円にもならないことがわかったんです。蓄電システムを知って、電気を売って得をするのではなく、買わずに得をしよう、と切り替えることができありがたかったです。

オーナー様の声 | OWNER'S VOICE

【東京都・50代ご家族】

毎日車を使いますが、街にある充電器スタンドは使ったことがないんです。というのも、うちにはV2Hスタンドがあり、太陽光パネルで発電した電気をそのまま電気自動車に充電しているから。電気自動車はガソリン車と比べると確かに大きな買い物ですが、毎日の燃料費が節約されるので大満足です。

Q どのメーカーの電気自動車に対応していますか?

A 主な日本製車種と一部の外国製車種の電気自動車に対応します。
電気自動車の対応車種については当社Webサイトに最新情報を掲載しています。



使ううちにどんどん蓄電容量が減るのでは?

長寿命の新開発リチウムイオン蓄電池を採用しています。
携帯電話やスマートフォンなどに使われる電池とは違い、電気自動車用に開発された長寿命設計の蓄電池を採用しています。

どのメーカーの太陽光パネルと接続できるの?

技術的には、ほとんどのパネルメーカーと接続可能です。
継続保証などの確認は、販売店にご相談ください。

動作中の騒音レベルはどのくらい?

図書館と同じくらいの静かさです。
40dB以下となっており、図書館と同じくらいの静かさとなります。

停電時、切替操作などは必要?

機器が自動で切り替えます。
停電になった場合、機器が約1~2秒間のブランクの後、自動で切り替えます。
※電気自動車からの自動給電は充電コネクタが接続されている場合にのみです。

停電時のために、蓄電容量を残しておく?

「蓄電池放電下限値(非常時安心設定)」と「車両放電下限値」で設定できます。
災害時のために常時残しておく電気残量を0%から100%の間で設定できます。

蓄電池の充電にはどのくらい時間が必要?

約3時間で満充電。
満充電まで約3時間で充電できます。(4.9kWh:3時間、9.9kWh(増設時):約3.5時間、7.4kWh:約4時間、14.9kWh(増設時):約4時間)
※動作温度範囲の上限もしくは下限付近になると、充電電圧が低下します。特に低温時は充電電圧が低下します。

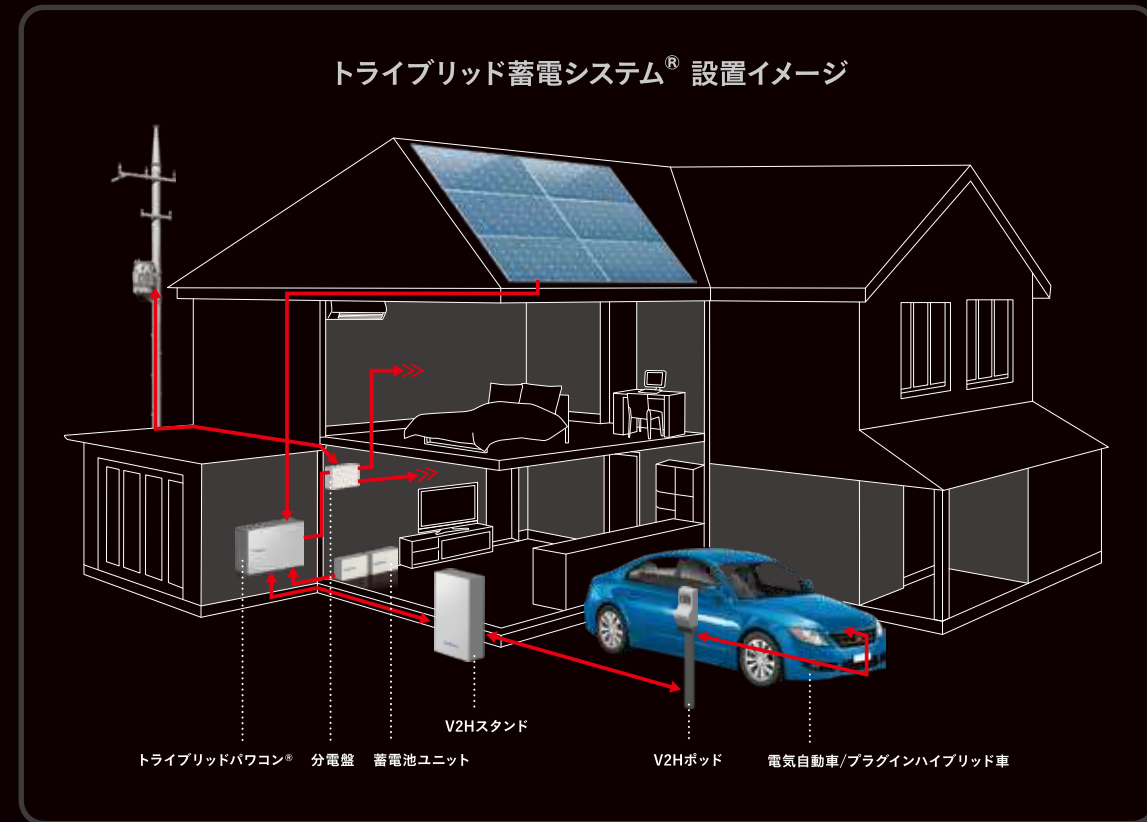
電気自動車への充電は時間がかかるの?

通常の充電設備の、約3倍のスピードです。
200V普通充電設備に比べ、標準充電5.9kWでも2倍、ハイスピード拡張充電だと9.9kWで約3倍の速さで充電が可能です。

Q

A

トライブリッド蓄電システム® 製品ラインナップ



トライブリッドパワコン®

ES-T3

3つの電池をまとめて効率よくコントロール。

太陽電池、蓄電池、電気自動車の内蔵電池の3電池を統合制御。それぞれの充放電動作をDC接続のまま高効率に行えます。停電時にもエアコンやIHが使用可能な全負荷200V標準搭載です。



通常時5.9kW、停電時5.9kVAの大出力

通常時は5.9kWの大出力、必要な電気はしっかり使えます(系統連系時)。停電時も5.9kVAで安心(蓄電池のみ利用時5.0/4.0kVA)。また、太陽光は、8.8kW/4入力搭載しており、短時間で充電することが可能です。

屋外設置

サイズがW685×H648×D239mm(取付金具、突起部含まず)、重量44kgの壁掛型屋外設置で場所を取らないコンパクト設計。

15年無償保証

15年間の無償保証付きですので、長期間安心してお使いいただけます。 ※室内リモコンは5年無償保証です。

蓄電池ユニット/増設ユニット

ES-T3S1 ES-T3M1 ES-T3L1 ES-T3X1



蓄電池ユニット

増設ユニット

使い方に合わせて増設できます。

お求めやすい電池容量4.9kWhと7.4kWh。ライフステージの変化に合わせて拡張可能。

幅広い容量ラインナップ

4.9kWhと7.4kWhの2種類の蓄電池をご用意。それぞれ2つまで設置が可能で、9.9kWhと14.9kWhの4パターンからお選びいただけます。

室内/屋外設置

コンパクトで場所を取らず、-10~40°Cで動作可能。お好きな場所に設置できます。 ※屋外設置はオプションが必要となります。

15年無償保証

15年間の無償保証付きですので、長期間安心してお使いいただけます。

V2Hスタンド・V2Hポッド

ES-T3V1 ES-T3P1 ES-T3PL1

電気自動車を大容量蓄電池としても活用できます。

系統電力からだけでなく、太陽光発電や蓄電池から電気自動車への倍速充電が可能。また、通常時、割安な夜間電力を電気自動車に充電し、昼間は電気自動車のバッテリーに蓄えた電力を家庭に給電することで、家計の節約につなげることもできます。停電時には、電気自動車の大容量バッテリーからご家庭に電気の供給も行えるので、災害時のバックアップ電源としても安心です。



ハイスピード拡張充電

標準5.9kWに比べ、系統電力+蓄電池+太陽光発電の拡張充電9.9kWで大容量化する電気自動車の電池に対応しています。

コンパクトなV2Hポッド

使いやすさを追求したV2Hポッドは、左右どちらにも充放電コネクタが挿せ、電気自動車の車種に応じて省スペースで最適な設置が可能です。 ※V2Hポッドのポールはオプションとなります。

15年無償保証

15年間の無償保証付きですので、長期間安心してお使いいただけます。 ※充放電コネクタとケーブルは10年無償保証です。

室内リモコン (トライブリッドパワコン®に付属)

ES-R6

タッチパネルで簡単操作!室内リモコンを標準装備。

5インチカラー液晶タッチパネル方式の室内リモコン付き。太陽光の発電量、蓄電池や電気自動車への充放電量や「エレムーブ®」などが一目で確認できるほか、過去の実績やメンテナンス状態もリモコン画面で簡単に確認することができます。



電力データがひと目でわかる

発電量、売電量、蓄電池や電気自動車の充放電量など、自宅のさまざまな電力データをグラフ表示。表示期間も日、月、年単位を切り替えられるので時間帯や季節による変化を確認できます。



見守りサポート&ネットワークサービス

ネットワークに接続すれば、運転状態をお知らせしたりメンテナンスを行うなど、24時間体制で蓄電システムの安心を見守り。多彩なネットワークサービスもご用意しています。 ※ルーターからインターネットへの接続は、お客様のネットワーク環境を利用します。

製品仕様

トライブリッドパワコン[®] ES-T3

外形寸法	W685×H648×D239 mm	
本体質量	44 kg(取付金具含まず)	
電気方式	単相2線式(接続は単相3線式)	
定格出力	5.9 kW	
定格出力(蓄電池のみの場合)	3.0 kW(ESS-T3S1, ESS-T3M1) 4.0 kW(ESS-T3L1, ESS-T3X1)	
系統連系出力	定格出力電圧	AC202 V± 12 V
	定格周波数	50または60 Hz
	定格力率	逆潮流時:0.95(標準値) 順潮流時:1.00(0.95以上)
電流歪率	総合電流歪率:5%以下(定格出力時) 各次電流歪率:3%以下(定格出力時)	

自立出力	電気方式	単相3線式
	定格出力	5.9 kVA(片相:3.0 kVA)
	定格出力(蓄電池のみの場合)	4.0 kVA(ESS-T3S1, ESS-T3M1) 5.0 kVA(ESS-T3L1, ESS-T3X1)
	定格出力電圧	AC202 V ± 12 V / AC101 V ± 6 V
	定格周波数	50または60 Hz

インバータ	変換方式	連系運転時:自動式電圧型電流制御方式 自立運転時:自動式電圧型電圧制御方式
	スイッチング方式	正弦波PWM方式

太陽光発電入力	接続方式	マルチストリング方式
	制御方式	最大電力点追従制御(MPPT)
	入力回路数	4回路
	開放電圧(接続可能上限値)	DC 450V以下 / 1回路 ^{※1}
	短絡電流(接続可能上限値)	15A ^{※1}
	MPPPT制御可能電圧範囲	DC50～DC425V / 1回路
	太陽光発電 起動/停止 電圧	起動時:50V 停止時:30V
	最大入力電力	2.2kW/1回路, 8.8kW/4回路
	最大動作電流(接続可能上限値)	13.5A/1回路 ^{※1}
	接続可能容量	2.5kW/1回路 10.0kW/4回路

変換効率(系統連系時)	太陽光(放電時)	95%(定格出力時) ^{※2}
	蓄電池(放電時)	94%(定格出力時)
	EV(放電時)	91%(定格出力時) [※] 電気自動車損失除く

定格出力可能時間	系統連系時(4.9 kWh)	88分
	自立出力時(4.9 kWh)	53分
	系統連系時(7.4 kWh)	135分
	自立出力時(7.4 kWh)	98分
	系統連系時(9.9 kWh)	131分
系統連系時(14.9 kWh)	自立出力時(9.9 kWh)	109分
	系統連系時(14.9 kWh)	200分
	自立出力時(14.9 kWh)	164分

絶縁方式	非絶縁トランスレス方式	
冷却方式	強制空冷方式 ^{※3}	
不要輻射	VCCI class B準拠 ^{※4}	
運転時騒音	40 dB-A 以下 ^{※5}	
防水防塵保護等級	IP36, IP46(水抜き穴, 吸排気口を除く場合)	
設置環境	設置条件	屋外, 標高2,000 m以下 -30 ~ +45 °C, 重塩害非対応 ※南側設置不可
	動作温度	-20 ~ +40 °C
希望小売価格(税抜価格)	¥1,200,000	

※トライブリッドパワコンは、トライブリッド蓄電システムのパワーコンディショナの登録商標です。

蓄電池ユニット/増設ユニット ES-T3S1/ES-T3L1

外形寸法	W540×H418×D230 mm	
本体質量	50 kg	
蓄電池公称容量	ES-T3S1:4.9kWh ES-T3S1+ES-T3L1:9.9kWh	
蓄電池初期実効容量	ESS-T3S1(ES-T3+ES-T3S1):4.2kWh ESS-T3L1(ES-T3+ES-T3S1+ES-T3L1):8.6kWh (JEM 1511 による)	
電池種類	リチウムイオン蓄電池	
電池セル定格容量	3.75 Ah	
電池構成	1モジュールあたり28直6並 全2モジュール直列構成	
蓄電池定格電圧	202.7 V	
蓄電池定格入力動作電圧範囲	168 V ~ 228.2 V	
防水防塵保護等級	IP31/IP35(屋外設置オプション利用時)	
設置環境	設置条件	標高2,000 m以下 室内,-10~+45°C, 結露なきこと 屋外 ^{※6} ※7,-10~+45°C, 重塩害非対応
	動作温度	-10 ~ +40°C
希望小売価格(税抜価格)	¥1,200,000/¥1,200,000	

蓄電池ユニット/増設ユニット ES-T3M1/ES-T3X1

外形寸法	W540×H418×D230 mm	
本体質量	61 kg	
蓄電池公称容量	ES-T3M1:7.4kWh ES-T3M1+ES-T3X1:14.9kWh	
蓄電池初期実効容量	ESS-T3M1(ES-T3+ES-T3M1):6.4kWh ESS-T3X1(ES-T3+ES-T3M1+ES-T3X1):12.9kWh (JEM 1511 による)	
電池種類	リチウムイオン蓄電池	
電池セル定格容量	3.75 Ah	
電池構成	1モジュールあたり28直9並 全2モジュール直列構成	
蓄電池定格電圧	202.7 V	
蓄電池定格入力動作電圧範囲	168 V ~ 228.2 V	
防水防塵保護等級	IP31/IP35(屋外設置オプション利用時)	
設置環境	設置条件	標高2,000 m以下 室内,-10~+45°C, 結露なきこと 屋外 ^{※6} ※7,-10~+45°C, 重塩害非対応
	動作温度	-10 ~ +40°C
希望小売価格(税抜価格)	¥1,700,000/¥1,700,000	

室内リモコン ES-R6

外形寸法	W170×H140×D23mm	
本体質量	320g	
設置環境	設置条件	室内(0 ~ +40 °C, 結露なきこと)
	動作温度	0 ~ +40 °C
希望小売価格(税抜価格)	トライブリッドパワコンに付属	

※1: モジュールの温度特性および直並列接続も含めて満足するようにしてください。これらを満足しない太陽光発電パネルは本製品に接続できません。
 ※2: JIS C 8961に基づく効率測定方法による定格負荷効率を示します。
 ※3: 動作中はパワーコンディショナ内蔵ファンの動作音が発生します。壁との距離等、設置環境により音の聞こえ方が異なる場合があります。
 ※4: 電波障害となる場合がありますので、ラジオ、テレビ、アマチュア無線等の電波を利用する機器とは3m以上離してください。
 ※5: JIS C 1509-1で規定するA特性サウンドレベルを示します。製品正面中央から1m、高さ1mの距離での測定値です。
 ※6: 屋外設置のためには、蓄電池屋外用ケースが必要です。
 ※7: 蓄電池屋外用ケース利用時でも日光が当たる場所には設置できません。

V2Hスタンド(セパレート型) & V2Hポッド ES-T3P1/ES-T3PL1 V2Hスタンド(一体型) ES-T3V1

型番	ES-T3P1	ES-T3PL1	ES-T3V1
外形寸法	V2Hスタンド	W520×H1180×D260mm(突起部含まず)	W520×H1180×D260mm(突起部/充電コネクタ含まず)
	V2Hポッド	W170×H430×D173mm(突起部含まず)	-
本体質量	V2Hスタンド	61kg	69kg
	V2Hポッド	6.8kg	-
充放電コネクタケーブル長	3.5m	7.5m	7.5m
充電部(系統連系時)	電気方式	単相2線式(接続は単相3線式)	
	定格電圧	AC202 V± 12 V	
	定格周波数	50または60 Hz	
放電部(系統連系時)	出力電力	6kW未満 ^{※1} (拡張充電時:最大9.9kW ^{※2})	
	電気方式	単相2線式(接続は単相3線式)	
	定格電圧	AC202 V± 12 V	
放電部(自立時)	定格周波数	50または60 Hz	
	AC出力電力	5.9kW ^{※3}	
	電気方式	単相3線式	
車両側電圧範囲	定格電圧	AC202 V± 12 V	
	定格周波数	50または60 Hz	
	AC出力電力	5.9kVA(片相:3.0 kVA) ^{※3}	
冷却方式	強制空冷方式(V2Hスタンドのみ) ^{※4}		
不要輻射	VCCI class B準拠 ^{※5}		
運転時騒音	40dB-A 以下 ^{※6}		
防水防塵保護等級	IP36, IP46(水抜き穴, 吸排気口を除く場合)		
設置環境	設置条件	屋外, 標高2,000 m以下 (-30 ~ +45 °C, 重塩害非対応)	
	動作温度	-20 ~ +40°C	
希望小売価格(税抜価格)	¥1,500,000	¥1,600,000	¥1,300,000

※1: 機器の入力値のため、実際の充電出力とは異なる場合があります。車両の状態(車種、充電率)、契約電力等により異なる場合があります。
 ※2: 車両の状態(車種、充電率)、蓄電池の有無、太陽光の発電電力等によって異なる場合があります。
 ※3: 車両の状態(車種、充電率)によって異なる場合があります。
 ※4: 動作中はV2Hスタンド内蔵ファンの動作音が発生します。壁との距離等、設置環境により音の聞こえ方が異なる場合があります。
 ※5: 電波障害となる場合がありますので、ラジオ、テレビ、アマチュア無線等の電波を利用する機器とは3m以上離してください。
 ※6: JIS C 1509-1で規定するA特性サウンドレベルを示します。製品正面中央から1m、高さ1mの距離での測定値です。

オプション	希望小売価格(税抜価格)	希望小売価格(税抜価格)	希望小売価格(税抜価格)
ES-T3V1 V2Hスタンド(一体型)	¥1,300,000	ESS-R22 リモコンケーブル20m ¥6,000	ES-C64 分電盤通信ケーブル40m ¥38,000
ES-T3P1 V2Hスタンド(セパレート型) 3.5m&V2Hポッド	¥1,500,000	ESS-R24 リモコンケーブル40m ¥13,000	ESS-C42 蓄電池通信ケーブル20m ¥23,000
ES-T3PL1 V2Hスタンド(セパレート型) 7.5m&V2Hポッド	¥1,600,000	ESS-C22 AC/CTケーブル20m ¥12,000	ESS-C43 蓄電池通信ケーブル30m ¥32,000
ES-B6A T3用専用分電盤(60A)	¥230,000	ESS-C23 AC/CTケーブル30m ¥16,000	ESS-C52 V2H通信ケーブル20m ¥15,000
ES-B7A T3用専用分電盤(75A)	¥250,000	ESS-C24 AC/CTケーブル40m ¥21,000	ESS-C54 V2H通信ケーブル40m ¥23,000
ES-T3H2 パワコン用取付ボード	¥40,000	ESS-C32 PV/CTケーブル20m ¥9,000	ESS-CT20 CTセンサー(φ24) ¥10,000
ES-T3H3 蓄電池屋外用ケース	¥100,000	ESS-C33 PV/CTケーブル30m ¥11,000	ESS-B3 リレーボックス ¥180,000
ES-T3H5 V2Hポッド用ポール	¥50,000	ESS-C34 PV/CTケーブル40m ¥14,000	ES-T3H1 パワコン用日除け板 ¥80,000
		ES-C62 分電盤通信ケーブル20m ¥23,000	ES-T3H4 蓄電池2段積みラック ¥80,000
		ES-C63 分電盤通信ケーブル30m ¥32,000	



システム型番(パッケージ型番)	希望小売価格(税抜価格)	トライブリッドパワコン ES-T3	蓄電池ユニット ES-T3S1	増設ユニット ES-T3L1	蓄電池ユニット ES-T3M1	増設ユニット ES-T3X1	単品型番
ES-T3 蓄電池なし	¥1,200,000	○	-	-	-	-	ES-T3 トライブリッドパワコン
ESS-T3S1 4.9kWh	¥2,400,000	○	○	-	-	-	ES-T3S1 電池ユニット4.9kWh
ESS-T3L1 9.9kWh	¥3,600,000	○	○	○	-	-	ES-T3L1 電池ユニット4.9kWh(増設ユニット)
ESS-T3M1 7.4kWh	¥2,900,000	○	-	-	○	-	ES-T3M1 電池ユニット7.4kWh
ESS-T3X1 14.9kWh	¥4,600,000	○	-	-	○	○	ES-T3X1 電池ユニット7.4kWh(増設ユニット)

商品改良のため仕様・外觀は予告なしに変更することがあります。